

2023年度 学校を核とした地域づくり講座 第1回(8/26) ふりかえりシートまとめ

小学校の図書を貸出されている事も初めて知りました。
たしかに利用できる事よりもそれを目当てに学校に集まる手段をして利用することが大切
大切だと思います。

住民が望みこと、住みやすい、住み続けたいと思う村とは…。
それを探すことを自治会長として進めたい。

丹波市の市民がどれだけ地域に関心を持っているが、実感しました。
自分たちでできることを実行している。地域を大切にしている。
あらゆる地域がそうあるために学びたいと参加しています。

昨年以上に、学校を核と地域づくりの活動が広がっていること、関わる人が増えていることをとてもうれしく思います。地域づくりの担い手の方が地域学校協働活動の必要性と有効性を感じて、活動していくことがとても重要だと思います。
社会(地域)の目指す人づくりは、学校の目指す児童像とつながっていくことが大事で、地域が学校を、学校が地域を語り、誇れる関係を築いていく上で地域学校協働活動推進員が地域コミュニティ活動推進員を兼務されている校区の取り組みも参考になり、学び深いものでした。
「学校図書館の地域活用」－丹波市の施策(ハード面の整備／図書館運営の方法)
→学校を核とした地域づくり

「子どもが決める」ことの大切さを協議でき、学びが深まりました。私が勤めている前山小学校は来春、竹田小学校と統合します。6年生で「まちの幸福論」を学習したり、たんぱかるさと学に取り組んだりしているなかで、地域課題の解決を子どもが主体的になって図つていくことで自己肯定感を高められると思います。

前山小学校で地域について、防災意識の向上、食・環境教育の理解と推進等に取り組んできたことを、子どもの自己決定の場をつくる機会として、さらに発展させていきたいと考えています。

地域学校協働活動推進員の役割が具体的な活動事例を聞くことで、より理解が深まりました。地域コミュニティ活動推進員との役割や協働につなげていければと思います。

それぞれの地域でこの地域だからできる取組を聞かせていただき、自分は何ができるのかを考えるいいきっかけとなりました。また、4班の中での交流もとても良かったです(いろんな人がおられたので)。

市外から参加させていただき、丹波では地域づくりと地域学校協働活動を両方の視点でつなぐことができる市民がいることが、1つのキーになっていることを感じました。あくまで制度は手段であり、それを通じて対話・協働の機会につながっていること、それが住民自治にもつながっていってのでは、と意見交換で感じさせてもらいました。ありがとうございました。

自分の校区以外の取組は聞いて楽しかったです。ワーキングで色々お話をできたのも楽しく、お勉強させていただきました。

実際に関わっている人の話が聴けたのは、勉強になりました。

地域が関わる図書館の重要性。市の社会教育施設も巻き込んで広がりを。
文化の交わり→多様性を認め合う→心地よさ→大人の姿を見せる
評価の仕方は難しいけど、挑戦が必要。

今日は実践を聞き、これから参考に大いになりました。
取りあげてほしい→アフタースクールの現状を知ってほしい

こうした機会で気づきや学びあいがあると思います。今後もよろしくお願いします。

学校を核とした地域づくりということが分かりました。地域づくりと学校づくりは、子どもたちの居場所づくり、学力向上だけでなく安心感につながることが分かりました。

船城小学校で行われた「自分たちで決める」という活動が先進的だと感じました。ステキ！

地域と学校が同じ目標に向かって取り組めるように進めたい。

自治協議会の推進員さんが、地域学校協働活動推進員をされる形がスムーズに地域と学校をつないでいくと思います。

立場が違う人が集まって学ぶことが、より高度な学びを生むと感じた。地域学校協働活動推進員のことが知れてよかったです。

地域学校協働活動推進員と地域がうまく連携できれば、地域の人にとっても子どもにとつてもつながる場になると思う。大人も子どもも学ぶことで、地域に愛着が持てるようになるのでは。